

令和5年度 山江保育園 事業報告

1. 保育理念

『どの子どもも育つ 育ち方ひとつ』

山江村の未来を担う心豊かな子どもたちを育てるために、山江の歴史・風土・人材等を活用できる環境を構築し、専門的な知識と職責感を持った職員が保育にあたります。

2. 保育目標（親、子、職員共に目指す人柄）

1. がんばる心を持つ子ども
負けない心、くじけない心、あきらめない心
2. やさしい心を持つ子ども
友達や家族を思いやる、地域を思いやる、自然を思いやる
3. 感謝の心を持つ子ども
お父さんお母さんに感謝、地域に感謝、命に感謝

3. 保育内容

未だコロナの感染状況が明確にならない状況の中であっても、感染リスクを減らしつつ子どもたちの成長の機会が損なわれないよう考慮しながら教育・保育を展開した。

(1) 明確な保育方針による乳幼児保育

言語感覚を軸にした知的能力・自在な手足の動きのための調整能力・他者とかかわりあいながら生きるコミュニケーション能力等を重視した育ちを目指す保育を心がけた。

(2) 多機能型保育サービスによる就労支援

私たちの原点は、「働くご家庭を支援する」ということを念頭に、延長保育、一時預かり保育、学童保育等の他、休日等の保育にも対応し、保護者目線に立ったサービスの提供をしてきた。一時預かりについては、出産規制をされたご家庭に対応し、学童は自主事業として実施してきた。

(3) 子どもとともに行動し続ける保育士

保育士が子どもとともに行動し、笑顔共有することを通して子どもたちの育ちのみならず、保育士も共に成長し続ける事を目指してきた。

(4) 音体指導（マーチング）

他のみんなと協調することの大切さを学び、本番というドラマを経験することで大きな達成感をみんなで共有し、子どもたちは大きな達成感を感じることができた。

(5) 体育指導

外部講師としてダンススタジオアライズ代表杉松氏を講師として招聘し専門的指導を行ってきた。体を動かす楽しさや、現代の子どもに不足しがちな体幹や、柔軟性鍛えるトレーニングを取り入れた指導を行ってきたが、コロナの影響で実施回数も少なく子どもたちは残念がっていた。

(6) 地域との関わり

毎月お年寄りとの交流会である「なかよし会」、各種行事での青年団活用、敬老会や地域公民館訪問等老人会との関わり、保護者会親子クッキングでの食改善員さんの活用、お誕生会等での読み聞かせグループ活用等々、多くの任意団体に協力を依頼した

7. 健康管理

(1) 健康診断

年2回（5月、11月）

(2) 歯科検診

年2回（5月、11月）

(3) 保健指導

年2回程度

(4) 身体測定

毎月実施

8. 安全管理

(1) 交通安全指導

毎月1回実施

(2) 避難訓練

毎月1回実施

9. 苦情処理

入園説明会においてパンフレット配布と保護者説明を実施するとともに、園内掲示板に対応方法、委員等について掲示。

苦情申し入れ状況及びその対応、解決についてはHP上にて公表。

令和4年度苦情申し入れ件数：0件

10. 情報公開

財務諸表及び苦情解決結果については、当園事務室にて常時閲覧可能。

またHP上で閲覧も可能。